

チューリップの花芽分化状況について(7月21日現在)

平成 29 年 7 月 26 日
 経 営 普 及 課
 (農業革新支援担当)

新潟県農業総合研究所園芸研究センターのチューリップ花芽定期観測結果から、今年の花芽分化及びノーズの伸長状況について主要 3 品種のデータを紹介します。

1 供試球根 (調査品種)

農業総合研究所園芸研究センター本場 (砂壤土) 産球根

品種 (系統)	掘取日	球周	初期乾燥	貯蔵	調査球数
プレルジューム (T)	6 月 15 日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵	5 球
イルデフランス (SL)	6 月 15 日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵	5 球
メリーウィドー (T)	6 月 15 日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵	5 球

2 花芽分化の状況

- (1) 本年の花芽分化は、いずれの品種も平年に比べて 1 週間以上遅れている。
- (2) プレルジューム及びイルデフランスは、いずれも分化始期 (II) ~ 雌ずい分化始期 (G1) で、平均すると平年比で 1 週間 ~ 10 日程度の遅れであるが、調査個体間のばらつきが大きい。
- (3) メリーウィドーは未分化期 (I) ~ 分化始期 (II) のまま停滞しており、平年に比べて 2 週間以上遅れている。
- (4) ノーズの伸長もいずれの品種とも緩慢で、平年に比べて 1 ~ 2 週間遅れている。

3 年次別りん片含水率 (7月10日定期調査)

りん片含水率は、品種によりばらつきがあるが、3 品種の平均では 58.5 % と平年値 (55.7 %) に比べて高く、過去 9 年では 2 番目に高い。

4 今後の技術対応等

- (1) 冷蔵計画の策定に当たっては、必ず花芽を確認し、無理の無い計画とする。
- (2) 本年は花芽分化が遅れているため、年内切り花出荷を予定している球根については中温処理を行うことが望ましい。具体的には、冷蔵処理開始予定日の 3 週間前から 20℃ 冷蔵庫内で管理する。その際、エチレンガスによる障害を防止するため、腐敗球の除去を徹底し、十分な換気に留意する。

5 具体的データ

添付ファイル「T170721data」参照

※ 次回の生育情報は、7 月 26 日調査のチューリップ花芽分化 (第 4 報) をお知らせする予定です。